

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 新型コロナウイルスの感染拡大防止について

- (1) 来場者事前申請されている者で1週間前(9月18日~20日)から体調管理チェックを行い、受付時に体調管理チェックシートを提示し、IDカードを付与された者のみが入場できる。
- (2) 日毎の受付時に「大阪コロナ追跡システム」に登録して頂きます。(P11参照)
- (3) 入場時、非接触での検温を実施する。当日検温で37.5℃以上の場合、参加を認めない場合がある。
- (4) 来場にあたっては、マスク・タオルを持参し、運動時を除いては原則としてマスクを着用すること。
- (5) 石けん等を用いた手洗い・手指消毒、洗顔を行うこと。
- (6) 待機所、ウォーミングアップ・招集等については競技役員の指示に従い、身体的距離(ソーシャルディスタンス)を確保すること。
- (7) 競技用具使用後は手洗いまたは手指消毒を行うこと。
- (8) 飛沫拡散を防ぐ為、集団での応援や大声・近距離での会話を避けること。
LAP等を読む者はマスクとフェイスシールドを着用すること。
- (9) ゴミは各自で持ち帰ること。
- (10) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者(関西実業団陸上競技連盟)に報告すること。

3. 練習について

- (1) 練習は危険防止に十分注意し、競技役員、大会運営役員の指示に従うこと。
- (2) ヤンマーフィールド長居【サブ】は、投てき種目が始まると練習場所を制限する。
詳細は下記の表を参照。

■練習会場の使用時間・日程

会場名	競技種目	9月25日(金)	9月26日(土)	9月27日(日)
ヤンマースタジアム 【メイン】	トラック	15:30~17:10 ※1 ※2	9:30~11:40 ※2	7:30~9:40 ※2
	バックスタンド下 室内練習場	選手待機場所	雨天時に開放	雨天時に開放
ヤンマーフィールド 【サブ】	トラック	—	11:30~16:30 ※3	9:00~15:30 ※4
	バックスタンド裏側 練習直走路	—	11:30~16:30 ※5	12:00~14:00 ※5

- ※1 17:10以降はトラック9レーン外側、マラソンゲート(第1曲走路中央)から第4コーナー付近の間での練習を可とする。(競技役員の指示に従うこと)
- ※2 一日の競技終了後の30分はトラック内での練習を認める。
- ※3 トラック内のバックストレート、第2曲走路は使用禁止(投てき審判員の指示に従うこと)
- ※4 第2曲走路は使用禁止(投てき審判員の指示に従うこと)
やり投は9時00分からW-UPとして開放する。
トラック内での練習は11時00分まではホームストレートのみ使用可とする。
※第1曲走路とバックストレートは小学生のリレー練習として使用する。
- ※5 スプリント走は北側から南側への一方通行とする。

- (3) 跳躍種目、投てき種目の練習は、二次招集完了後、競技役員の指示に従って行うこと。

4. 競技場の開閉門について

	9月25日(金)	9月26日(土)	9月27日(日)
開門	15時30分	9時30分	7時30分
閉門	20時30分	17時30分	17時30分
備考	・スタンドは開放しない	—	—

※ヤンマースタジアム1階中央エントランスホールにてチーム・選手受付(アスリートビブス、プログラム、IDカードの配布)を行う。

5. 招集について

(1) 招集所（一次招集）は、ヤンマースタジアム【メイン】中央正面玄関入ってエントランスホールに設ける。
P 1 2 参照

(2) 各種目の一次招集開始時刻・完了時刻は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

開始時刻 2 時間前

※棒高跳びは 1 時間 20 分前に完了すること

完了時刻 1 時間前

〔女：10 時 40 分～11 時 20 分〕
〔男：13 時 00 分～13 時 40 分〕

※トラック種目の予選がある種目で決勝に進んだ選手については直接、二次招集（現地）へ行くこと。
決勝ラウンドに進出した選手で欠場する者は必ず、一次招集所に競技開始 1 時間前までに欠場届を提出すること。

※同じ日に複数種目に参加する選手について一次招集は 1 回の招集で一次招集完了とする。

(3) 一次招集の手順

- ① 一次招集の時間内に一次招集所にて「体調管理チェックシート&一次招集用紙」を提出する。
- ② その際、アスリートビブス、スパイク（シューズ）の点検を受ける。
- ③ 5000m、10000m、5000mW の種目については、別ナンバーカードを受け取ること。
- ④ 招集完了時刻に遅れたものは、欠場したものとして扱う。

(4) リレー種目について

- ① リレーオーダー用紙は、一次招集完了時刻 1 時間前（一次招集開始時刻）までに、一次招集所にて提出すること。（リレーオーダー用紙はプログラム巻末の用紙を使用すること）
- ② 一次招集完了時刻までに 4 人全員、招集完了をしていること。
- ③ リレーマーカ―は出場チームで用意し、使用したマークは、使用后各チームの前走者が必ず取り除くこと。

(5) 欠場する場合は、欠場届を招集開始前に競技者係に提出すること。なお、欠場届は、プログラム巻末の用紙を使用すること。

(6) 一次招集所からスタート地点・跳躍場・投てき場への移動は各自、二次招集時間内に移動すること。

(7) 各種目の二次招集開始時刻・完了時刻は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

【トラック】

【フィールド】

※棒高跳びは 60 分前に完了すること

開始時刻 15 分前

開始時刻 50 分前

完了時刻 10 分前

完了時刻 40 分前

〔女：11 時 30 分～11 時 40 分〕
〔男：13 時 50 分～14 時 00 分〕

(8) 二次招集（トラック種目）の手順

- ① 現地にて腰ナンバーカードが机の上に置いているので各自で取って右腰に着けること。
- ② シール式の腰ナンバーカードは回収しない。
- ③ 5000m、10000m、5000mW はトランスポンダー付きの腰ナンバーカードを安全ピンで右腰に着けること。
- ④ トランスポンダー付きの腰ナンバーカードはフィニッシュ後、選手自身で外し、回収箱に入れること。

6. 競技進行について

(1) 競技について

- ① 予選におけるトラック種目のレーン順、フィールド種目の試技順は、プログラム記載の番号順とする。
- ② トラック種目の関西連盟以外の登録出場選手については予選がある場合は決勝には進めない。
- ③ フィールド種目（走高跳、棒高跳除く）の関西連盟以外の登録出場選手については 6 回までの試技を認める。
- ④ トラック種目、フィールド種目にまたがって同時間帯に出場する場合は、フィールド競技役員にその旨を申し出て、トラック種目を優先して出場することを原則とする。
- ⑤ 決勝の組合せ及びレーンは主催者が抽選し、記録掲示板（エントランスホール階段降りて左側通路）にて発表する。
- ⑥ トラック競技における次のラウンド進出者のプラスの決定について、その最下位で 100 分の 1 秒単位で同記録があった場合、1000 分の 1 秒で着差判定をして進出者を定める。着差がない場合でレーン数に余裕があれば同記録の者は次のラウンドへ進出できる。レーン数の不足する時は抽選する。
- ⑦ 5000mW の競技者は、32 分を過ぎて新たな周回に入ることはできない。
- ⑧ スパイクのピンは、9mm 以下のものを使用する。ただし、走高跳・やり投については、12mm 以下とする。本数は 11 本以内とする。

- ⑨ シューズの靴底の厚さはWA規則第 143 条を適用しない。
スパイクの無いシューズについては厚さ 40mm までの厚底シューズを履いて競技することを本競技会については認める。スパイクの有るシューズについては厚さ 30mm まで認める。
WA規則適用外のシューズを使用する場合は「体調管理チェックシート&一次招集用紙に申告すること。
WA適用シューズについてはP10を参照。
フィールド競技については申告不要。
- ⑩ アスリートビブスは配布された大きさのまま、ユニフォームの胸部と背部に付けること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでよい。
(招待小学生リレーと招待小学生 100m は、主催者が 1 枚配布するナンバーカードを胸部につけること)
- ⑪ 投てき種目、棒高跳の滑り止めについては各自、用意すること。

(2) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方について

跳躍競技

走高跳	男	決	練習 1m80	1m85-90-95-2m00-05	以降 3cm ずつ上げる
	女	決	練習 1m55	1m60-65-70-75	以降 3cm ずつ上げる
棒高跳	男	決	練習 4m00	4m10-20-30-40	以降 10cm ずつ上げる
	女	決	練習 3m00	3m10-20-30-40	以降 10cm ずつ上げる

※ 同記録による 1 位決定のバーの上げ方は、走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。

7. 競技用具について

- ① やりは、個人所有の使用を認める。
② やりは、競技開始 60 分前までにヤンマースタジアム【メイン】正面スタンド南側用器具庫
(フィニッシュ地点側)にて提出し検査を受けること。

8. 抗議について

抗議は、日本陸上競技連盟競技規則により、総括総務員へ申し出るものとする。

9. 表彰について

- ① 各種目の優勝者を表彰する。
② 1 位から 3 位までの入賞者は成績発表後直ちに、表彰場所 (ヤンマースタジアム【メイン】、エントランスホール下) に集合すること。(2 位、3 位の入賞選手は賞状と副賞を競技役員から受け取る)
③ 関西連盟以外の登録者については表彰の対象外とする。
④ 強化委員会にて、最優秀選手、敢闘選手、新人賞を選考し賞を与える。
⑤ 最優秀選手には毎日新聞社杯を授与する。

10. その他

- (1) 部旗、横断幕などの使用は、メインスタンド中段より上部、およびサイド・バックの各スタンド上部通路より上に張ること。ただし、競技運営などに支障のある場合は、撤去又は移設を指示する場合がある。
- (2) ヤンマースタジアム【メイン】およびヤンマーフィールド【サブ】2階コンコースを選手、チームスタッフ、付添者の待機場所とする。大会 2 日目の競技終了後、コンコースにおけるシート等の残置を認めるが、車両が通行するため折り畳んだ状態にしておくこと。紛失、盗難に関して主催者は一切責任を負わない。部旗、横断幕等については、毎日撤去して持ち帰ること。
- (3) 記録は、掲示しない。ホームページにて公開する。
- (4) 更衣について
- ・貴重品は各自で責任を持って管理すること。
 - ・入室時に「更衣室入退管理表」に名前、所属、入室時刻を記入すること。
退場時には退場時間を記入すること。
 - ・各部屋 8 名～10 名の利用制限を守ること。
 - ・8 名～10 名が入っているか「更衣室入退管理表」を確認の上、入室すること。
 - ・シャワーの利用を認める。
 - ・更衣室の利用時間は入室してから 15 分以内とする。

- ・更衣および競技後のシャワー以外の利用は認めない。(待機場所としての利用は不可)
- ・時間帯によっては小中学生の更衣として専有する。
- ・更衣室はヤンマースタジアム【メイン】に男女各4室(10名まで1室、8名まで3室)を設ける。
ヤンマーフィールド【サブ】は男女各1室(10名まで)を設けるが投てき選手のための利用とする。

- (5) トイレの出口で靴底の消毒を行うこと。(消毒トレイを設置)
- (6) 競技中に発生した傷害・疾病については、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (7) スタンドでの応援エリアは、黄色のテープで制限した範囲内とする。
スタンドの着席位置は前後左右に2席以上を空けて座ること。
大会1日目はスタンドを開放しない。
グラウンド内のマラソングートから第4コーナー付近までのトラック9レーン外での観覧を認める。
競技役員、大会役員の指示に従うこと。
ハイヒールなどグラウンドを傷つける可能性がある履物は禁ずる。
ラップタイムを読むチームスタッフについてはマスクの着用、かつフェイスシールドを着用すること。
フェイスシールドは主催者にて準備する。
- (8) 第1曲走路内側(フィニッシュ地点)と第2曲走路内側(200mスタート地点)に通過記録等を選手に伝える大会役員(関西連盟強化委員からの選出者2名)を下記の種目に限り設ける。
 - ・大会2日目(土): 男子5000m(1組~3組)、男子J5000m、男子3000mSC
 - ・大会3日目(日): 女子5000m(1組、2組)
- (9) 携帯電話等の情報機器の競技場内への持ち込みは禁止する。